

第10回PI外環沿線協議会 傍聴者アンケート

(出されたアンケートをそのまま事務局でワープロ化したもので、加筆修正は行っていません。よって文章が繋がらないところや、判読不明な文字のところも有ります。)

1. 本日のPI外環沿線協議会に関するご意見・ご感想
2. 外環についての日頃のお考え、思っていること
3. その他、協議員や事務局などに伝えたいこと

『杉並区善福寺在住、40代、女性』

2について

- ・30数年も凍結されて来た計画を今頃押し進める権利が誰にあると言うのか。
- ・石原都知事は計画線を真剣に視察なさったのでしょうか。住宅地の真中に高速道路を通すような国が、先進国のどこにあるというのでしょうか。こんな事に時間と予算を費やさずに、例えば、燃料電池自動車に助成をしたら堂でしょう。
- ・水しか排気しない車が実用段階に入っている時代です。外環なんて時代遅れです。あとは、東京の緑化に予算を費やして下さい。町は人の住めない後進国と化しています。電柱地中心化も真げんに考えてほしい。JRをよく利用するけれども、汚くて、外国人を案内するのにはずかしい限りです。もっと品格のある街づくりを考えて下さい。

『三鷹市在住、40代、男性』

1について

- ・議題が絞れず、今後は懇談会方式だというのが、そんな議論が始まれば、またどんな懇談会にするかで会議はめぐる。懇談会になったからといってこの調子では、懇談会での議題絞りができなくなるのではないか。
- ・PI委員以外の普通の市民は既にシラケている。
- ・懇談会は密室化につながり、会議の公開から外れていく危険性がある。

2について

- ・道路で得られものと失われるもの。
- ・普通の市民にもイメージできるように絵にして示して欲しい。
- ・抽象論で「必要性和効果」を語っても普通人にはわかりませんよ。
- ・具体化として見せることは既成事実づくりではない。具体的イメージを見せられて、市民ははじめて反対意見も言える。

3について

- ・こんなことばかり続けていたら、折角注目されているのに、忘れ去れてしまうよ。

『武蔵野市在住、20代、女性』

1について

- ・行政と無関係の、環境や国土計画の専門家がこの場にはいないのに疑問を感じる。国土交通省環境整備局から出席している方、真剣に議論している場でへらへら笑ってないで意見を言って頂きたい。
- ・情報公開 個人である必要はないPIは、計画案そのものを順番にたどって、議論なり、質疑応答をしていった方が充実するのではないか。今は視点がばらばらでまとまりがない。

2について

- ・外環ができると、車の交通が早く便利になるが、便利になればそれだけ交通量は増えることが予想される。今まで利用しなかった人まで利用するようになれば、交通量の予測は今算出されている数字を超えるものになるだろう。必ずしも外環ができることによって環境への負担が低減されるものではないと思う。外環をつくるより、ロードプライシングを導入する場合の方が効果的なのではないか、行政側はその場合も考えた事があるのだろうか？
- ・これからの時代は利便性より環境問題。外環は反しているのではないか？

3について

- ・PIのあり方や何を協議するのか、ということに対して意見が何回も重複していることから分かるように、(もう第10回なのに)今何を議論すべきかはPI開催以前に決めておく問題だと思う。資

料を大量に出して、1つ1つやっていくのではなく、論点をかためてから開催すべき。また意見を、待つのではなく、司会が行政側の人や専門家を名指しして答えさせるくらいの勢いがあった方がいいのではないか。行政側は、住民側の主張に一つ一つ答える義務があり、答えられなければならない。

『武蔵野市在住、50代、女性』

1について

- ・協議員の皆様も、もっと内容のある議論をしようとしているということが、わかりました。
- ・情報公開 個人請求 その資料をとった個人がどう使うかは自由なのではないか。都計審のメンバーは、私人ではなく、公人となるのだから名前を出せないというのはおかしい。過去の総理大臣の名前を出せないというのと同じではないか。結局、都としては消極姿勢なのではないか。

2について

- ・私は外環は中止した方がいいと思っています。
- ・大泉も中途半端な状態で車を通してしまっているので問題が起きているので、現在は、大泉をストップさせたらどうでしょう。
- ・便利な道路が出来れば、そこには車が集まっていくだけで、環八についてそれほどの効果はないと思っています。

3について

- ・たくさんの資料が出され、そこから予測というパターンですが、その方法が適正妥当なのか、国交省だけでなく、他の人・機関による評価や推論もみたいと思っています。

『練馬区在住、30代、男性』

1について

- ・あきれました。まだ小学生の学級委員会の方が色々な意見がでておもしろいと思う。会議の仕方を会が認識しない。私は、参せいと反対とで問題をあぶりだす方がよいと思う。(ディーベルズ・アドボケート)

2について

- ・日々住民は年を取って、高齢化がすすみ、住民の移動がむずかしくなっている。至急「やるか」「やらないか」決めるべき。
- ・昔のことより、現代の交通事情から外環はやもえないと思う。ゼネコンのいいなりになるのをふせぐためにこの委員会は使うべき。

3について

- ・会議の仕方をしらすすぎる。議事の進行の仕方でも1時間20分も時間をとるなんてバカバカしい。50人近い人があつまってこれでは・・・しっかりして欲しい。

『江東区在住、20代、男性』

1について

- ・江崎協議員が「有識者委員会は国や都の応援団では？」という事をおっしゃっていたが、確かにそう思える。国交省と関係の深い“御用学者”さんが多いのではないかと。1人くらい反対派の人や沿線の当事者の学者さんも入れるべきではないか。あと委員の外環に対する賛否も聞いてみたい。あと、“高い所”からの提言は大変結構なのだが、利用料金の“高い所”(会場=東条インペリアルパレス)でやる必要があるかは疑問。もっと庶民的な所で会議してもいいのではないかと。

2について

- ・外環整備には1km1000億円の費用がかかるらしいが、一体このお金はどこから出すのでしょうか？都にそれほどお金があると思えないが・・・。この件はどこで議論するのでしょうか？

3について

- ・そろそろ第三者の司会者ファシリテータを入れた方がいいのでは？
- ・運営委員会をやるとしても議事内容が不透明にならないようにちゃんと公開してほしい。

『世田谷区喜多見在住、40代、男性』

1について

- ・運営方法が問題になっているが、本来、司会進行を中立的な第三者に委託し、その委託内容の中に、時間管理/進行内容管理も含めた目標(値)を住民/行政両方が納得した形で盛り込む事が重要と考

える。

2について

- ・行政による「外環は必要である」という広告が如何にいい加減で、説得力に乏しいか感じる事しもりである。江崎さんの言う誘発交通、つまり道路は造れば造るほど車は溢れ、自然は壊され、工事費はかさみ、人々は不幸せになるのである。その発想の転換をこそ、このP I協議会の場が担っているのではないか？

3について

- ・世田谷喜多見は自然が溢れている素晴らしい土地である。これら自然が国分寺崖線から発生する湧水に、その恵みの多くを負っている事は容易に想像される。この湧水を切断し、豊じょうな風土を破壊する外環計画には反対である。七建屋が潤っても、都民は幸せにはならない。